



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場会社名 大日本塗料株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4611 URL <http://www.dnt.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岩浅 壽二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 瀬古 宜範

TEL 06-6466-6661

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	16,068	△0.7	230	△10.9	158	175.5	33	—
23年3月期第1四半期	16,175	3.0	258	—	90	—	△199	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △35百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △470百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	0.22	—
23年3月期第1四半期	△1.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	69,217	18,558	21.7
23年3月期	70,092	18,828	21.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 15,027百万円 23年3月期 15,243百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,500	△0.3	800	△34.2	500	△41.7	200	△7.9	1.35
通期	71,000	0.2	2,300	△23.9	1,500	△30.4	700	△31.0	4.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	148,553,393 株	23年3月期	148,553,393 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	62,181 株	23年3月期	61,781 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	148,491,295 株	23年3月期1Q	148,492,281 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	10
(7) 追加情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧米景気の下振れの可能性や原油価格の高止まりによる景気後退のリスクが懸念されるものの、アジア諸国を中心とした新興国の内需拡大を背景に、景気は概ね回復基調で推移いたしました。

一方、わが国経済は、東日本大震災の影響が企業収益、個人消費、雇用情勢等に依然として色濃く残っておりますが、サプライチェーンの立て直しや企業の生産活動の持ち直しに伴い、徐々にではありますが回復傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループは安定的収益を上げうる体質を目指し、国内塗料事業の収益力強化、海外塗料事業の積極拡大等を柱とした施策に積極的に取り組んで参りました。しかしながら昨年度に構築した低コスト構造は維持しているものの、原材料価格上昇の影響をコスト削減で十分に吸収し切れず、総じて厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、160億6千8百万円（前年同四半期比 0.7%減）、利益面につきましては、営業利益は2億3千万円（同 2千8百万円減）、経常利益は1億5千8百万円（同 6千8百万円増）、四半期純利益は3千3百万円（前年同四半期は四半期純損失1億9千9百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔国内塗料事業〕

一般塗料は、サプライチェーンの変化や原材料価格の上昇により、厳しい状況が続きました。

工業塗料は、建材塗料分野で東日本大震災からの復興関連需要がありましたが、その他の分野では国内製造メーカーの操業度低下により、同じく厳しい状況で推移いたしました。

この結果、国内塗料事業全体の売上高は122億7百万円（前年同四半期比 0.6%増）、セグメント利益は4千7百万円（同 3百万円減）となりました。

〔海外塗料事業〕

海外塗料事業は、アジアの一部諸国の需要が一時的に停滞していることと原材料価格高騰の影響もあり、やや低調に推移いたしました。

この結果、海外塗料事業全体の売上高は12億9千7百万円（前年同四半期比 1.6%減）、セグメント利益は7千4百万円（同 3千8百万円減）となりました。

〔照明機器事業〕

照明機器事業は、今後は東日本大震災後の電力供給量不足による節電に向けての省エネ対策としてLED設備計画の増加が見込まれるものの、足許では節電による蛍光灯のメンテナンス需要の低迷により、売上、利益ともに低調に推移いたしました。

この結果、照明機器事業全体の売上高は17億8千6百万円（前年同四半期比 9.4%減）、セグメント損失は1千7百万円（前年同四半期はセグメント利益3千7百万円）となりました。

〔蛍光色材事業〕

蛍光色材事業は、海外市場での堅調な需要を背景に輸出が好調を維持しております。一方、国内市場においても主力の加工品の需要が比較的堅調に推移いたしました。

この結果、蛍光色材事業全体の売上高は3億4千2百万円（前年同四半期比 2.1%増）、セグメント利益は3千3百万円（同 0百万円増）となりました。

〔その他事業〕

その他事業全体の売上高は4億3千3百万円（前年同四半期比 4.6%増）、セグメント利益は3千3百万円（同 2千2百万円増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、692億1千7百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億7千5百万円の減少となりました。流動資産は335億2千1百万円で前連結会計年度末と比較して4億1千7百万円の減少となりましたが、これは現金及び預金の減少1億4千1百万円、受取手形及び売掛金の減少6億2千9百万円、たな卸資産の増加7億6千4百万円、繰延税金資産の減少1億5千7百万円、その他の減少2億6千3百万円等が主因であります。固定資産は356億9千6百万円で前連結会計年度末と比較して4億5千7百万円の減少となりましたが、これは有形固定資産の減少1億9千7百万円、無形固定資産の減少1億5千8百万円、投資その他の資産の減少1億1百万円等が主因であります。

負債は506億5千9百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億4百万円の減少となりました。これは支払手形及び買掛金の減少7億9千1百万円、短期借入金の増加11億4千9百万円、未払法人税等の減少3億8千6百万円、その他流動負債の減少1億7千9百万円、長期借入金の減少3千9百万円、退職給付引当金の減少6千9百万円、リース債務の減少1億5千9百万円、その他固定負債の減少1億6百万円等が主因であります。純資産は185億5千8百万円で前連結会計年度末と比較して2億7千万円減少しました。これは利益剰余金の減少1億1千5百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億4千8百万円等が主因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想は、前回発表(平成23年5月12日)の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,590	3,448
受取手形及び売掛金	16,599	15,969
商品及び製品	7,575	8,052
仕掛品	1,111	1,138
原材料及び貯蔵品	2,871	3,131
繰延税金資産	597	439
その他	1,744	1,480
貸倒引当金	△149	△138
流動資産合計	33,939	33,521
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,899	18,978
減価償却累計額	△12,014	△12,163
建物及び構築物(純額)	6,884	6,815
機械装置及び運搬具	23,697	23,834
減価償却累計額	△19,449	△19,657
機械装置及び運搬具(純額)	4,247	4,177
土地	11,947	11,950
リース資産	760	755
減価償却累計額	△218	△244
リース資産(純額)	542	510
建設仮勘定	15	17
その他	6,096	6,123
減価償却累計額	△5,355	△5,413
その他(純額)	741	710
有形固定資産合計	24,379	24,181
無形固定資産		
のれん	169	151
リース資産	1,344	1,205
その他	388	385
無形固定資産合計	1,901	1,743
投資その他の資産		
投資有価証券	4,285	4,057
繰延税金資産	3,667	3,825
その他	2,182	2,153
貸倒引当金	△262	△265
投資その他の資産合計	9,872	9,771
固定資産合計	36,153	35,696
資産合計	70,092	69,217

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,415	16,623
短期借入金	12,466	13,616
未払法人税等	515	129
製品補償引当金	82	84
災害損失引当金	61	37
その他	5,132	4,953
流動負債合計	35,673	35,445
固定負債		
長期借入金	8,330	8,290
リース債務	1,785	1,625
繰延税金負債	156	150
再評価に係る繰延税金負債	1,731	1,731
退職給付引当金	3,072	3,002
役員退職慰労引当金	135	139
環境対策引当金	44	44
その他	334	228
固定負債合計	15,590	15,214
負債合計	51,264	50,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,443	2,443
利益剰余金	2,533	2,418
自己株式	△9	△9
株主資本合計	13,794	13,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	454	306
土地再評価差額金	1,454	1,454
為替換算調整勘定	△461	△413
その他の包括利益累計額合計	1,448	1,347
少数株主持分	3,585	3,531
純資産合計	18,828	18,558
負債純資産合計	70,092	69,217

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	16,175	16,068
売上原価	11,390	11,513
売上総利益	4,784	4,554
販売費及び一般管理費	4,526	4,324
営業利益	258	230
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	33	49
その他	66	77
営業外収益合計	101	128
営業外費用		
支払利息	145	126
その他	123	72
営業外費用合計	269	199
経常利益	90	158
特別利益		
貸倒引当金戻入額	35	—
受取保険金	—	69
その他	0	2
特別利益合計	36	72
特別損失		
減損損失	5	4
特別退職金	12	—
その他	10	3
特別損失合計	28	7
税金等調整前四半期純利益	98	223
法人税、住民税及び事業税	79	75
法人税等調整額	207	93
法人税等合計	286	168
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△188	54
少数株主利益	11	21
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△199	33

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△188	54
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△355	△149
為替換算調整勘定	73	59
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△282	△90
四半期包括利益	△470	△35
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△498	△67
少数株主に係る四半期包括利益	27	31

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計			
売上高								
外部顧客への売上高	12,134	1,319	1,971	335	15,760	414	—	16,175
セグメント間の内部 売上高又は振替高	295	2	—	52	350	750	△1,100	—
計	12,429	1,321	1,971	387	16,110	1,164	△1,100	16,175
セグメント利益	51	113	37	33	235	10	12	258

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事事業、物流事業、不動産管理事業、経理業務サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	235
「その他」の区分の利益	10
セグメント間取引消去	29
のれんの償却額	△17
四半期連結損益計算書の営業利益	258

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計			
売上高								
外部顧客への売上高	12,207	1,297	1,786	342	15,635	433	—	16,068
セグメント間の内部 売上高又は振替高	225	6	—	38	270	771	△1,041	—
計	12,433	1,304	1,786	381	15,905	1,204	△1,041	16,068
セグメント利益又は 損失(△)	47	74	△17	33	138	33	58	230

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業、不動産管理事業、経理業務サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	138
「その他」の区分の利益	33
セグメント間取引消去	75
のれんの償却額	△17
四半期連結損益計算書の営業利益	230

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

(ダイア蛍光株式会社の株式追加取得)

当社は、平成23年7月28日開催の取締役会において、連結子会社であるダイア蛍光株式会社の株式を追加取得し、完全子会社化することを決議しました。当社グループの照明機器事業の中核企業であるダイア蛍光株式会社は、これまでも連結子会社として当社と密接な提携関係のもとで、事業の展開とシナジーの追求に注力してまいりましたが、さらなる発展のためにはグループ全体での一層の経営資源の効率的・機動的な活用と迅速な経営判断が事業運営上、不可欠な状況となっており、完全子会社化することにより情報の共有化など経営資源をより緊密に連携させることが、当社グループ全体の企業価値の向上につながると判断いたしました。

(1) 株式取得先

山下 昌宏

(2) 株式取得会社の概要

商号 : ダイア蛍光株式会社

事業内容 : 照明機器の製造

資本金 90百万円

総資産 5,071百万円 (平成23年3月期)

売上高 2,223百万円 (平成23年3月期)

(3) 株式取得の時期

平成23年8月 (予定)

(4) 株式取得前後の所有株式数、所有割合、取得価額

取得前所有株式数 120,600株 (所有割合67.0%)

取得株式数 59,400株 (取得価額1,650百万円)

取得後所有株式数 180,000株 (所有割合100.0%)

(7) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。